

1 この科目の構成について (改行は Alt + Enter)

教科	数学科	科目	数学演習 I	単位	1 単位
対象コース	一貫、カレッジ	コース	対象クラス	2 年	1~2 組
使用副教材	チャート式基礎からの数学 I + A (数研出版)				

2 この科目の目標・学習内容・学習方法について (改行は Alt + Enter)

学習目標：この科目を学習して何を身につけてほしいのか

- ・数学 I A の基本事項を復習し、実践問題に応用するための土台を作る。

学習内容：この科目で学習する大まかな内容

- 数学 I A の復習

学習方法：この科目を学校と家庭でどのように学習すればよいのか

(1) 学校

チャート式基礎からの数学 I + A の例題を説明し、練習します。1 年時に学んだ分野の振り返りをします。

(2) 家庭

家庭学習においては出された宿題は確実に解決し、分からなかった部分は授業での解答を手がかりに積極的に質問し、解決できるようにしておいて下さい。授業中に解いた問題も、家庭でもう一度解きなおしましよ。十分な演習量を確保し、数多く問題に触れるよう心掛けて勉強してください。

3 この科目の評価方法について (改行は Alt + Enter)

評価方法：何をを使って評価するのか

- (1) 普段の授業態度
- (2) 小テスト：必要に応じて単元確認テストを行います。
- (3) 演習プリント：プリント演習を必要に応じて行います。提出、解決状況は平常点に加えていきます。
- (4) 振り返りシート：単元テスト後に自身の学習に対する取り組みの振り返りを行います。
- (5) 学期中の課題：授業理解の確認のために宿題を課します。また、長期休業には宿題を課します。提出状況、取り組み状況は平常点に加えていきます。

評価における定期考査の割合

0 %

4 この科目の評価の観点について (改行は Alt + Enter)

評価の観点：この科目の学習内容はどのような基準で評価されるのか

(1) 関心・意欲・態度

各分野の考え方に関心を持ち、意欲的に取り組んでいるかを授業への出席状況、授業へ取り組む姿勢、課題の提出状況などで見ます。

(2) 思考・判断

授業の各分野において、単に計算ができるだけでなく、より効率的な解法はどのようなものであるかを考えているかを授業の発表や定期考査などで見ます。




(3) 技能・表現

答案作りについて、論理的かどうか、また、各分野において事象を数学的に考察し、表現し、処理する仕方や推論の方法を身につけ、的確に問題が解決できるかを定期考査などで見ます。

(4) 知識・理解

各分野の定理・法則・用語を理解し、基礎的知識が身につけているかを定期考査などで見ます。

5 この科目の学習計画について (改行は Alt + Enter)

年間学習計画：この科目でいつ・何を・どのように学ぶのか				重視する評価の観点				CHECK
学期	月	学習の項目	学習の内容	関	思	技	知	○△×
1	4～6	1. 数と式 2. 集合と命題  	数学 I A の復習をします。	●	●	●	●	
	7～9	3. 2次関数 4. 図形と計量 		●	●	●	●	
	10～1	5. データの分析 6. 場合の数と確率 7. 図形の性質		●	●	●	●	
	2～3	8. 整数の性質		●	●	●	●	

【SDGsの各ターゲットについて】

ちょっとだけ詳しく内容を知りたい方は、アイコンをクリック



【道徳教育について】

高校の道徳教育についてちょっとだけ知りたい方は
アイコンをクリック



※FSVに接続してる場合のみ

下のアイコンは、該当する「学習の内容」の場所に
コピーしてご使用下さい

SDGsターゲットアイコン



道徳教育アイコン



